

「無差別・平等の 地域包括ケア」

私たちの医療と介護を多くの地域の方々へ届けよう



社会医療法人 同仁会

理事長 田端 志郎

する国民の生活苦の状況を考えると、私たちのアウトリーチが届いていない可能性があります。私たちの医療と介護を、ぜひより多くの地域の方々へ届けてまいります。今年もどうぞよろしくお願いたします。

2024年度の同仁会の経営は非常に厳しい結果で推移してきており、中期事業計画「みみはら2030年の樹」を進めてゆくうえでの足かせになり得る状況です。2023年5月にコロナが5類になって以降、医療と介護を取り巻く環境が大きく変化の中で、その変化に合致した事業内容をまだ十分に創り出せていません。それに加え、2024年度の診療報酬・介護報酬同時改定は、同仁会だけでなく日本全国の医療・介護事業に大きな経営的打撃を与えました。医療機関と介護事業所の倒産は過去最多となっています。私たちは国に十分な社会保障制

同仁会へのご支援を 引き続きお願いします

新年あけましておめでとございます。昨年も、全役職員と健康友の会みはらのご奮闘のおかげで、多くの方に必要な医療と介護を提供することができました。皆さまに心から感謝申し上げます。ですが、同仁会にとっては「非常に厳しい一年」でもありました。

安定した経営基盤を 創り上げる一年に

度を求め、地域の事業所と力を合わせて医療機関・介護事業所への財政支援を求めるとともに、地域ニーズに合致した事業所運営を創り出さなければなりません。健康友の会みはらの皆さんには、これまでと変わらぬ同仁会へのご支援を引き続き賜うことをお願いするとともに、厳しいご意見を含めてお寄せいただければと思います。

今年、中期事業計画を成功させるための安定した経営基盤を創り上げる一年になります。これまでの延長線上ではない、超高齢社会の地域ニーズを踏まえた「無差別・平等の地域包括ケア」を展開しなければなりません。これが私たちの目指す「みみはら2030年の樹」です。理事長として、先頭に立ってリーダーシップを発揮してまいります。同仁会の無料低額診療事業を利用する患者さんの延べ人数が、この1年間は横ばいになっています。物価高をはじめと



みみはらグループ 新年集会

2025年 1月11日(土)

13:50~16:30(開場 13:20)

会場：堺市立西文化会館 (ウェスティ)

講演：山納 洋氏

(大阪ガスネットワーク(株)
エネルギー・文化研究所研究員)

テーマ：「まちづくり、はじめの一步」

超高齢社会のニーズを踏まえた地域包括ケア事業

地域ではこれから85歳以上の高齢者層の人口が増加し、病気の治療に加えて、介護への対応が重要になります。4月開所の2地区の新施設は、こうした「医療と介護の複合ニーズ」への対応を充実させます。

西区・鳳エリアの施設は、外来と在宅医療を提供する「鳳クリニック」、訪問看護を行う訪問看護ステーション、ヘルパー事業を担当するヘルパーステーション、介護サービスの調整を行うケアプランセンターの4事業所が同一フロアで運営されます。

堺区・大仙西町では、高齢者向けの住まい(有料老人ホーム)のお隣の地域コミュニティ棟に、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、ケアプランセンター、助け合い事業を行うNPO法人「結いの会ともうず」があり、同じ区内の在宅クリニック、耳原総合病院とも連携し、医療と介護のニーズに対応します。